

◎クレアの秘宝伝～眠りの塔とめざめの石～

「秘宝伝」のAタイプシリーズとして評価の高い「クレアの秘宝伝」の第2弾。演出を大幅にパワーアップして、A+RT機として登場です。

注目は、BBでは41種類、RTでは7種類という多彩な演出パターン。大都歴代機の楽曲や演出が、クレアの世界観に合わせ、展開します。今後、多数登場する見込みの液晶付きAタイプの中でも期待のできる1台です。

純増最大304枚のBBと同約106枚のRBで出玉を増やすAタイプ。BB後は30G固定のRTに必ず移行。BB・RT中は大都の人気コンテンツをモチーフとした演出・楽曲が楽しめる。



©DAITO GIKEN,INC.

歴代機を生かした七つのRT

本機はA+RT機で、コイン単価は約2.4円。ベースは50枚当たり約34G、出玉率は97.2～114.6%、ボーナス合算確率は約1/164.3～1/116.2。天井はありません。

■通常時のゲーム性

通常時は、前作同様、チャンス目成立を契機に5G固定の高確率ゾーンに突入。そこから、約40%の期待度でボーナスを狙います。

チャンス目の確率は約1/40となっているため、飽きずにプレーすることができそうです。

また、高確率中、チャンス目がそろえば、ボーナス確定。一方、通常時も高確率中も、液晶左のクレア像役物が発光すれば、ボーナスの期待度大幅アップという作りになっています。

■ボーナス

ボーナスはBBとRBの2種類。獲得枚数は、BBが最大304枚、RBが同106枚。

技術介入要素としては、BB・RBともに、予告音発生時に逆押しで左リール申下段に白バー図柄を狙います。停止成功で獲得枚数がアップ。後は順押し消化で最大獲得が見込めます。

また、BB中の演出パターンには、全13話+αのストーリーが展開する「ストーリーBB」のほか、「忍魂」「押

忍!番長」といった、大都の人気コンテンツの楽曲と演出が楽しめる、27種類の「お宝BB」を搭載。プレイヤーが、任意の演出・楽曲を選んで楽しめます。

■RT

前作からの大きな変更点となるのが、BB後に必ず突入するRT (30G)。新たなゲーム性を作るポイントになります。

RTは、選択したBBの演出パターンによって変化する仕組みで、全部で7種類存在。

「ストーリーBB」なら、「クレアRT」に突入します。

「お宝BB」で、忍魂BBを選択していれば、一発告知の「忍魂RT」。番長BBなら、番長シリーズでおなじみの特訓演出が展開する「番長RT」に移行します。

各RTで演出が異なり、法則性を見つける楽しみなども備えていますから、長期稼働につながる味付けといえるでしょう。

今作の最大の魅力が、このRTだと思います。大都歴代機種コンテンツを、クレアの世界観に合わせて、うまく取り入れているからです。

また、RT突入画面演出やRT消化中演出などで設定を示唆するものもあ

り、RTが設定判別要素として機能する点も注目です。

前作の「クレアの秘宝伝」は設定判別要素も多く、出玉も期待できるスペックだったため、高設定が期待できるホールほど、早い時間帯から席が埋まっている傾向にありました。

導入から約4年が経過していますが、いまだに2100店舗で設置しているようです (P-WORLDによる)。新しいクレアに対するユーザーの期待感も高いのではないのでしょうか。

8月22日から市場導入開始で、販売台数は7000～8000台とか。

パチスロでも規制が本格化している現在。今後、Aタイプのバリエーションも必要になってきます。

年末にかけて、液晶付きのノーマルタイプが多く登場する予定とのことですが、その中でも期待のできる機械といえるのではないのでしょうか。

PROFILE

糸柳達成 (いとやなぎ たつなり)

株式会社アテイン 代表取締役

関東の老舗ホール企業で約17年半勤務。店長としても新規・リニューアルを含めて6店舗を経験。業界歴は25年以上。現在はホールコンサルタントのほかにも店長研修、セミナー講師、集客企画などマルチな活動を行っている (詳しくは<http://at-attain.com>参照)。「パチンコ必勝ガイド」「パチスロ必勝ガイド」など、ファン雑誌への登場も多数。